

Trigger Event Trend Analysis

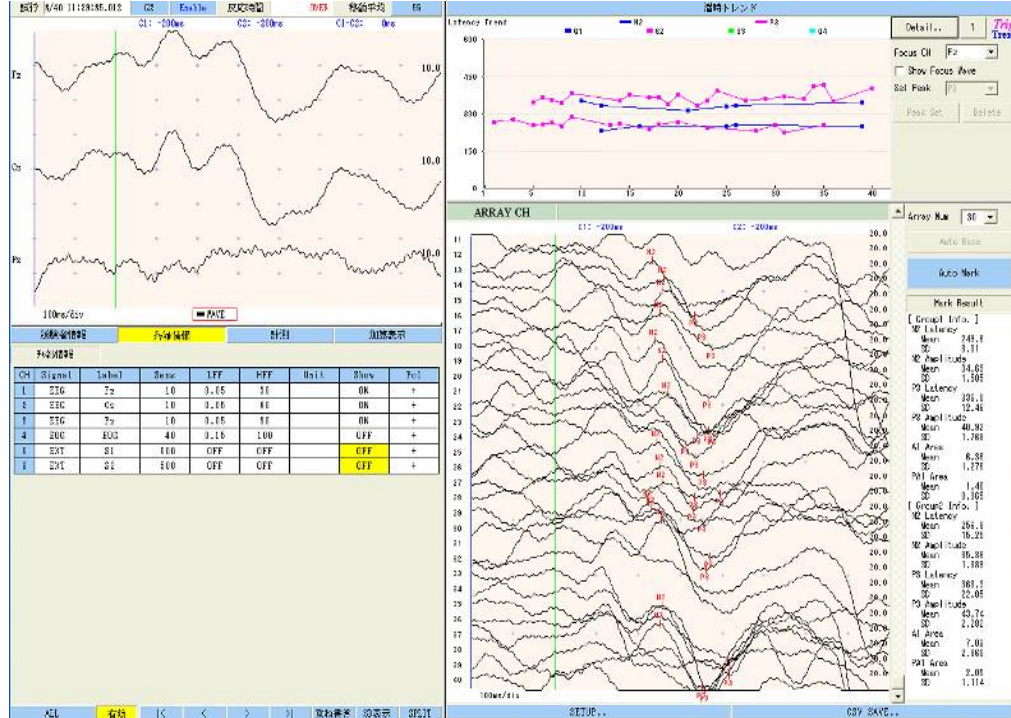


トリガイイベントトレンド解析プログラム (Trigger Event Trend Analysis) は、トリガイイベントビューワー (Trigger Event Viewer) で読み出した 1 試行ごとの波形を並べて表示し、ピーク検出・セットを行い、検出ピークの時間的変化をトレンド表示するプログラムです。1 試行ごとの波形ピークをマニュアル修正が可能です。アレイ表示でレベルマップ表示により ERP 成分などの出現ゆらぎを視覚的に確認できます。

特徴

- トリガイイベントビューワー (Trigger Event Viewer) に組み込みます。
- トリガイ識別加算ソフトで切り出した RAW 波形データを解析します。
使用できるデータはトリガイ識別加算ソフトで作成した RAW 拡張子データをトリガイイベントビューワーで読み出して行います。
- 試行波形を最大 100 試行までラスタ表示により指定チャンネル波形を並べて表示します。
ベースラインを重ねて表示することも可能です。
- 試行波形の振幅を色にして並べて表示 (レベルマップ) することで変化を視覚化できます。
- 試行波形のピーク指定が 8 ピークまで可能です。ピークはラスタ波形上に表示します。
オートピーク検出も設定により可能です。面積計算も可能です。
- ピーク潜時・振幅トレンド表示が可能です。
- ピーク集計が可能です。ピークごとの潜時・振幅の集計が加算グループごとに可能です。
- ピーク集計結果のテキスト出力が可能です。
ピークごとの潜時・振幅の集計結果をテキスト出力できます。
- トレンドやラスタ波形イメージをクリップコピーできます。

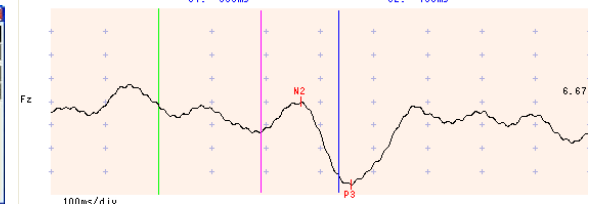
画面例



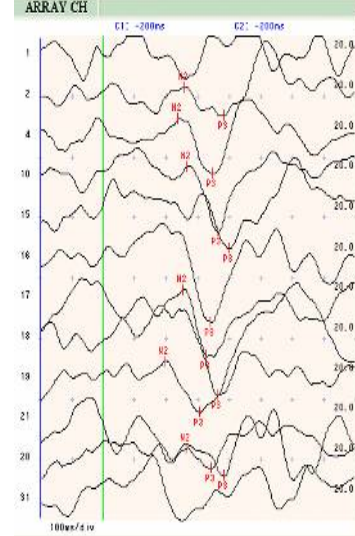
ピーク検出設定



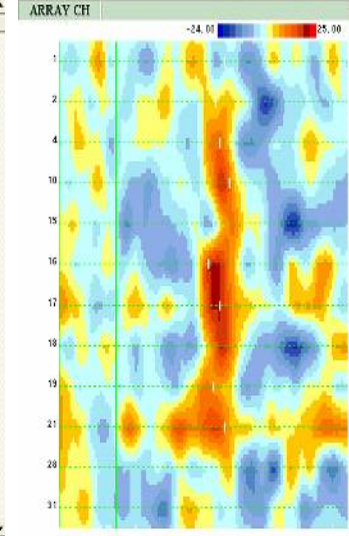
マークマニュアル指定



アレイ表示



レベルマップ表示



ピーク集計

Mark Result	
[Group1 Info.]	
N2 Latency	Mean 249.6
	SD 8.01
N2 Amplitude	Mean 34.69
	SD 1.505
P3 Latency	Mean 336.0
	SD 12.46
P3 Amplitude	Mean 40.92
	SD 1.768
[Group2 Info.]	
N2 Latency	Mean 256.8
	SD 15.25
N2 Amplitude	Mean 35.36
	SD 1.889
P3 Latency	Mean 368.3
	SD 22.05
P3 Amplitude	Mean 43.74
	SD 2.282

仕様

- 解析チャンネル数 最大 128 チャンネル
- 最大アレイ表示数 100 ライン
- レベルマップ表示 可能 (最大 100 ライン)
- ピークマーク設定数 最大 8 ピーク
- オートベース機能 可能 (カーソル指定範囲の平均)
- オートマーク機能 可能 (区間設定、面積計算)
- マーク修正 マニュアル修正可能
- マークトレンド 可能 (潜時、振幅の選択) ALL, G1~G4
- マーク集計 可能 (平均、SD の計算)
- イメージ出力 アレイ表示の試行波形イメージのメタファイル形式でのクリップボードコピー
アレイ表示の試行波形テキストデータ形式でのクリップボードコピー
マークトレンド表示イメージのメタファイル形式でのクリップボードコピー
マークトレンドのテキストデータ形式でのクリップボードコピー
- テキスト出力 マーク集計データ アレイ試行波形データ (チャンネル選択)

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium II 500MHz 相当以上
メモリ 2GB 以上 (推奨 4GB 以上)
ハードディスクの残り容量 10GB 以上
表示解像度 1024×768 以上 (1280×1024 以上推奨)
動作 OS Windows7, Windows8, Windows10, WindowsXp (すべて日本語環境)